

## 「犯罪被害者支援を考える集い」を終えて

福井被害者支援センター  
事務局長 中村正和



去る10月9日(土)、福井県国際交流会館に於いて「犯罪被害者支援を考える集い」を開催しました。開催の目的はこの集いを通して、犯罪被害者の方々及びご家族、ご遺族の現状や心情を理解し、生命の尊さ、重さを改めて考えることです。更に「なくそう飲酒運転」をテーマに交通事故と飲酒の関係について考えました。(内容は次ページ)

今日、犯罪被害者は国、地方自治体の支援は十分でなく、社会にあっては周りの支援を受けることなく孤立状態にあります。片や加害者に対する保護、更生は行政・民間支援者の手厚い支援によりかなり充実しています。犯罪被害者に対する司法、行政は被害者参加制度、犯罪被害給付金の改善などはなされたもののまだまだ不十分な点が多くあります。

そして何より社会の無理解、無関心が多くあることです。被害者に向けられる無理解な言動や視線を見てとっても社会の無理解、無関心さが分かります。二次被害を与えることなく被害者にどのように向き合うかは社会の責任です。私たちは何時、被害者になるか分かりません。突然理不尽に生命を奪われた家族・遺族を社会が支える環境を一日も早くつくる必要があります。

今回の集いがその契機になればと運営にあたった関係者一同は熱い思いで夜遅くまで合計6回の運営委員会で議論をしました。運営委員は福井九頭竜ライオンズクラブ、あいおい損保、支援センター相談員、ほっとサポートセンター、弁護士会、支援センター事務局等で皆さんは全くのボランティアでした。

今回の中心は「生命のメッセージ展 in 福井」で全国から142<sup>名</sup>の犠牲者のメッセージが寄せられたことです。約300名の参加者は一人ひとりのメッセージを熱心に見入っていました。これを契機に被害者に対する社会の関心が高まることを願っています。

## 平成22年度第2回被害者支援 県民公開講座

演題：「命の大切さを考える」

講師：一井 彩子 氏

開催日：平成22年12月10日(金)13:00~14:30

会場：敦賀気比高等学校体育館

敦賀市沓見 164-1(TEL0770-24-2150)



# ～犯罪被害者支援を考える集い～

10月9日(土) 福井県国際交流会館に於いて開催されました。



## 生命のメッセージ展 in 福井

約300名の方が来場され、それぞれにメッセンジャーやご家族の想いに心を傾けられている姿が見られました。

「生命の重さ尊さ」そして「今、生きていることへの感謝」等、多くの方々が命のことを考える機会になったのではないのでしょうか。



小さい子供たちの前で、しゃがみ込んでメッセージを読む人たち。  
「こんな小さな靴が・・・」と涙ぐむ姿も見られました。



小さなお子様連れのご家族や学生さん、年配の方など、様々な年代の方々が熱心に見入られていました。



## ～ご来場者の感想～

亡くなられた方のこれまでの人生、これからの夢、家族の幸せを一瞬にして無くしてしまうという現実を学びました。

30代 男性

事件、事故は自分には関係ない他人事のように思われている方も多いと思います。このような企画を繰り返し行い、今ある命は当たり前ではなく、生かされている生命であり奇跡のような幸せだと気がついてほしいと思います。

50代 女性

初めて参加させていただきました。いつも新聞で見たりする記事とは違う本当の内容、被害者の思いがあることに気づかされました。多くの人に今日のことを伝えたいと思いました。

30代 女性

やはり、同年代の方々に会うと心が痛くなります。同じ年を刻んでいた人たちとなぜこんな形で出会わなければいけないんだって思います。

でも、私がみなさんとここで会ったのも奇跡かもしれない、そう私は思います。だからこの出会いを大切に、みなさんが教えてくださったことを、これからの生活、これからの未来に活かせるように頑張ろうと思います。ありがとうございました。

10代 女性

家族からのメッセージの中から命の重みを強く感じることができたので、とても心の中心に響きました。赤い糸を結んだ時には、生命の愛おしさを託すことができたという思いと、命を守る立場であるという責任感が生まれました。

20代 男性

被害者は誰にも守られていない。理不尽すぎる事が多い。本当に“被害に遭ったら最後”という気持ちになった。車に乗る一人ひとりが心から事故を引き起こさないと固い決意が必要だと心の底から思う。

30代 男性

生命の大切さはだれもが解かっていることですが、いざ自分や家族内で問題が起こった時に初めて事の重大さに気がきます。飲酒運転をする人はアルコール依存症になった方が多く、いくら警察が取り締まりをしても無くなりません。アルコール依存症は病気という認識をし、専門家のいる病院、施設にいくようにしてもらいたいです。

60代 男性

以前にテレビで拝見してから福井に来ないのかなと思っていましたが、今回来て下さったので是非とも思い寄せてもらいました。とてもたくさんのメッセージの方がいらっやって全部の方の話を読ませてもらえなかったことが残念です。2日ほどあるともう一度ゆっくりと来れるのと思いました。たくさんの尊い実体験を届けてくださってありがとうございました。

40代 女性



次の開催地へ、バトンが渡されました

ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



福井県で唯一の参加家族です。2003年に「生命のメッセージ展」に参加し全国を回って、8年目で念願の福井市で開催することができました。

今回多くの方々のご協力で「生命のメッセージ」の種まきができたとを心より感謝申し上げます。いつかどこかで必ず芽を出し、新たな種となってメッセージが伝わっていきますように。

宮地美貴子

## 「ゼロからの風」 映画上映会

福井九頭竜ライオンズクラブ松浦逸郎会長のご挨拶には始まり、その後、19歳の息子が無免許、飲酒運転、無車検の暴走車にはねられて失った母親が悪質な交通事故犯の厳罰化を求めて奔走する実話を基に制作された映画が上映されました。



## 講演会 「被害者の心情とは」

映画のモデルにもなった「生命のメッセージ展」と「いのちのミュージアム」の代表を務める鈴木共子氏が講演されました。

ご自身の経験から被害者の現状などを話され、被害者支援とはどういうものかということをご改めて考えさせられました。

そして「いのち」が守られる社会の実現を目指しての活動についての想いを語られ、多くの方々から「心に響いた」という声が寄せられました。



## シンポジウム

「なくそう飲酒運転」～なぜ悲惨な事故はなくなるのか～

当支援センター理事長の松原六郎氏をコーディネーター、シンポジストに福井県警の吉田秀樹警部、(株)NTT 西日本北陸-北陸 福井支店の天方忍氏、福井県断酒会連合会会長の堀江忍氏、助言者に鈴木共子氏をお迎えして、各団体での取り組みや意見を述べ合い、来場者も交えて討論会を行いました。まず一人ひとりの認識が重要だと再確認しました。



## 自助グループ

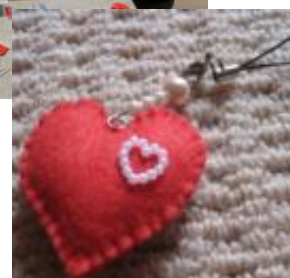
### 光の風

より

10月19日(木)に例会が開催されました。今回は、ワークショップという形で、ハートのストラップを作りました。

ひとつひとつ心をこめて手作りしていきます。

参加者のみなさんでいろいろな想いを話しながら、優しい時間を過ごすことができました。





## 支援センターニュース



### 8/25 公開講座とはあとふるコンサート

平成22年8月25日、福井市中央1丁目の「響のホール」で公開講座が開かれました。講師は集団暴行で当時高校一年生だった息子さんを亡くした「少年犯罪被害当事者の会」代表の武るり子さんです。約200人の聴衆が「被害者遺族と接するときは、自分が同じ状況に置かれたらどうか想像してほしい」という武さんの訴えに聞き入りました。



8/25 響のホールで公演する武るり子氏

### 「生命のメッセージ展 in 福井」のプレ展示

平成22年10月9日(土)9:30からの「犯罪被害者支援を考える集い」の中での本展示を前に、10月4日(月)10:00~10月8日(金)16:00迄福井市役所1階市民ホールで「生命のメッセージ展」のプレ展示が行われました。プレ展示には福井市の宮地貴宏君ら交通事故の犠牲者5人のオブジェが展示されました。



10/4 福井市役所1階市民ホールプレ展示



9/7 福井県警察職員賛助会員入会式の様子

### 県警397人と11グループセンター入会

犯罪被害者への支援の輪を広げようと、県警の397人と11グループが平成22年9月7日(火)、当センターに賛助会員として入会し会費95万4千円を頂きました。川上賢正副理事長はお礼と共に「被害者を第一に考えた活動を展開したい」と抱負を述べました。

### 放送大学で公開講演会

平成22年10月17日(日)13:30~15:00までアオッサ7階の放送大学第一講義室で放送大学の学生、及び同窓生を対象に「犯罪被害にあうということ」と題して講演会が開かれました。講師は同大学の同窓生でもあり、被害者支援センターの相談員の川端が務めました。

### 「いのちの大切さ」を学ぶ教室の開催

福井県警と各中学校のご協力のもと、10月21日(木)大野開成中学で、全校生徒を対象に「命の大切さを学ぶ教室」~犯罪被害にあうということ~を講演しました。

7/6(火)の小浜中学校を皮切りに、10/21(木)は開成中学校で開催され、年内には至民中学校、鯖江中央中学校、春江中学校と県内5つの中学校で開催の予定です。



10/22 大野市開成中学校での教室(日刊福井掲載写真)

